

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	31
施設名	葛飾区幸田保育園
施設所在地	葛飾区西水元2-16-10
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」  
～どんな音がする？聴いて、触れて、鳴らしてみる～

<テーマの設定理由>

1歳児クラスが取り組むにあたり、歌や音楽が好きな子ども達という特性から「音」をテーマにすれば子どもの興味・関心をひき、感性が育まれると考えたため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月：テーマを決定  
令和7年6月：必要物品等実施準備  
令和7年7月～令和8年3月：実施  
(内訳：7月1回、9月1回、12月2回、1月1回、3月1回、計6回)  
令和8年3月：振り返り

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・1歳児室を実施場所にする  
・準備したもの  
和太鼓、ツリーチャイム、鈴、カスタネット、タンバリン、ブロック、積み木、ビニール袋、新聞紙

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

令和7年7月4日（金）／7月10日（木）2つのグループに分かれて実施  
初めてツリーチャイムを見せ、保育士が音を鳴らして聴かせてみた。その後、子ども達にも触れさせてみると、そっと触る子、豪快に触る子と様々であったが、どの子も音が鳴ると嬉しそうであった。

令和7年9月12日（金）／9月16日（火）2つのグループに分かれて実施  
和太鼓の音だけを聴かせ、その後実物を見せ目の前で太鼓を打つと驚いた様子であった。子ども達に触れさせてみると、手やバチで叩いたり、まわりの黒いフチをなぞったりする姿が見られた。

令和7年12月10日（水）  
ツリーチャイム、身近な物に触れて音を出す。ブロックを打ち合わせたり、新聞紙やビニール袋をクシャクシャにして音が出ることを楽しんだ。

令和12月24日（水）／12月25日（木）2つのグループに分かれて実施する  
保育士が和太鼓の上にどんぐりを落として音を聴かせた。その後、子ども達も真似し、自分でやって音が出るのがうれしい様子であった。

令和8年1月15日（木）  
タンバリンの音だけ聴かせると、「たいこ」と言う。実物を見せ、触れてみると、床において叩いたり、ジングルを触ったり、裏返して触ったり、子ども達の発想で音が出ることを楽しんでいた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

初めて聴いて見る楽器の音に、子ども達は目を丸くしたり、手を口に当てたり、両腕を上にあげたりと喜ぶ姿が印象的であった。太鼓の音を聴いて「ドン！」と言ったり、ツリーチャイムの音を聴いて「キラキラ」と言ったりし、音を聴いてそれを言葉で表現していた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達は予想以上に生き生きとした表情で活動していた。両手で口をおさえて笑ったり、足をバタバタさせたり、全身で喜びを表現していた。私達の予想と違う反応や行動をすることも多く、必ずしも保育者の真似をして同じ鳴らし方をするのではないのだという発見があり、私達の固定概念であったと気付く。初めは緊張していた様子の子も、回を重ねる毎に積極的になり、意欲的に活動に取り組む姿が印象的で、子ども達の様々な表情が見られたことが、とても良かった。